

## 令和5年度第1回大分県総合教育会議 議事要旨

### 【日程】

日時 令和5年8月28日（月）

開会 10時30分 閉会 12時00分

場所 県庁本館4階 第一応接室

### 【出席者】

総合教育会議構成員 大分県知事 佐藤樹一郎

大分県教育長 岡本天津男

大分県教育委員 林浩昭

大分県教育委員 岩崎哲朗

大分県教育委員 高橋幹雄

大分県教育委員 鈴木恵

大分県教育委員 岩武茂代

### 【協議事項】

- (1) 大分県における子どもたちの状況と今後重要となる視点・方向性
- (2) どの地域においても充実した教育を受けることができる高校教育の在り方

## 【発言要旨】

### 協議事項（１）大分県における子どもたちの状況と今後重要となる視点・方向性

#### （要旨）

- ・ **小中からのキャリア教育の重要性**
- ・ **文理の枠を超えた多様性のあるイノベーション人材育成の必要性**
- ・ **ICT を活用した教育の重要性（先生のスキルアップを含む）**
- ・ これまでの取組により学力や体力は向上してきたが、将来像や地元愛の項目が減少傾向、今後のキャリア教育がとても重要（林委員、高橋委員）
- ・ 高校からではなく、小中からの早期のキャリア教育が重要（教育長）
- ・ キャリア教育の充実には、先生からの授業だけではなく、外部人材の活用も大事（高橋委員、鈴木委員）
- ・ 大分県の産業教育のレベルはとても高い、県内への進出企業等からも実業系高校のレベルは高いと評価（高橋委員、鈴木委員、岩武委員）
- ・ 将来像（将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合）の項目の低下が気になる。幸福感だけでなく、厳しい状況下での体験が必要（岩武委員）
- ・ 地域の伝統文化の継承はともうまくいっている（鈴木委員）
- ・ 社会的課題の解決を図るため、文理の枠を超えた人材の育成が必要（林委員）
- ・ ICT の活用で教育の地域間格差の是正が求められる。特に英語は効果的ではないか（岩崎委員、岩武委員）
- ・ ICT を活用した授業は先生側のスキルアップが求められる（高橋委員、岩武委員）

### 協議事項（２）どの地域においても充実した教育を受けることができる高校教育の在り方

#### （要旨）

- ・ **どの地域においても同じように教育を受けることができることの重要性**
- ・ **ICT を活用した遠隔教育の重要性（先生のスキルアップを含む）**
- ・ **対面型、ICT、学校間連携などを活用したベストミックスの検証**
- ・ どの地域においてもどこの高校においても同じように質の高い教育ができることが重要（林委員）
- ・ 資料 2-2 の事業の考え方は、人口減少に伴い子どもの数が減少することで先生数が減っていくことや、人口の多い大分市内の学校と地域の学校では学力の分布が異なっており生徒一人一人に応じた授業が困難であるので、それを参集型の特別講座やオンラインでの遠隔授業で実施してみようということ（知事）
- ・ オンラインを活用した習熟度別授業はとても重要（林委員）
- ・ オンライン授業の精度はまだまだ低い面もある（鈴木委員）
- ・ ICT を教育で活用するには、人とのコミュニケーション能力の向上が重要（高橋委員）
- ・ オンライン授業は先生側のスキルの向上が重要（林委員、高橋委員）
- ・ 遠隔授業は、特定の学校の授業をそのまま配信すればいいわけではなく、習熟度別の配信を行うなど、今、県教委が取り組んでいる内容を進化させていくべき（岩崎委員）
- ・ 学校間連携といって近隣の学校で授業を受け単位認定できる制度もあるので活用を検討してみ

てはどうか（岩武委員）

- 全県一区制度については、生徒や保護者からの意見では、全県から通学する権利もあるという声や地元から何時間かけて通わなくても良いようにという声もある。そうした声に対応するため、ICT オンリーだけでなく、対面型を含めどこがベストミックスか検証していく（教育長）

以上